

チュートリアル課題 失業中に太ったUさん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/30216

2009年度 Block 3

課題 No. 3

「失業中に太ったUさん」



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。

佐倉 宏 (第三内科学)

課題シート

2009-B3-3

シート1

失業中に太ったUさん

Uさんは42歳の男性、建築現場の作業員でした。昨年の職場健診で、身長169cm、体重82kg、腹囲98cm、空腹時血糖値113mg/dL、尿糖（－）、その他の項目には異常がありませんでした。数日後、職場の診療所に呼び出され、管理栄養士による指導を受けました。また、その時の血糖値（朝食2時間後）173mg/dL、尿糖（＋）でした。
本年3月に会社が倒産し、家にいることが多くなり、体重が89kgになってしまいました。

課題シート

2009-B3-3

シート2

失業中に太ったUさん

今年の夏は暑くてのどの渇きも強かったため、毎日清涼飲料水を約3L飲んでいました。1週間前から夜に何回もトイレに行くようになりました。今朝なかなか起きてこないで家人が様子を見に行ったところ、揺り動かしても応答が乏しく様子がおかしいので、救急車で病院に搬送しました。

課題シート

2009-B3-3

失業中に太ったUさん

シート3

救急外来での検査の結果すぐに入院することになり、生理食塩水およびインスリンの点滴が開始されました。翌朝には意識は正常に戻り、食事も摂れるようになりました。入院3日目の夕食前に冷汗、手のふるえが生じ、再び意識が低下しました。

課題シート

2009-B3-3

シート4

失業中に太ったUさん

ブドウ糖の静脈注射を行ったところ、すぐに意識は回復しました。1週間後、インスリンはまったく必要なくなり、退院することになりました。

担当医：「入院で血糖値はずいぶん良くなりました。飲み薬も必要ありません。でも、将来のことを考えると、生活習慣の改善と定期的な通院が必要ですよ。」

Uさん：「生活習慣の改善はどんなことをするのですか？ずっと続けなければならないのですか？自信ないなあ。」